

## 教育企画係

### 1 事業名 早寝早起き朝ごはんフォーラム

### 2 事業遂行上の課題

「早寝早起き朝ごはんフォーラム（以下「フォーラム」という。）」は、子どもと保護者が楽しみながら、運動や食育について学んだり、一緒に体を動かしたりするなど、親子のコミュニケーションを深める内容が中心であり、平成 29 年度から実施している。令和元年度は、「イオンモール橿原サンシャインコート」において本フォーラムを行ったが、催事場面積が約 174 ㎡に対し来場者数は約 1,000 人であったため、混雑する時間帯もあった。このため令和 2 年度は、新型コロナウイルス感染症感染拡大防止対策の観点から、従来の計画を見直し、参加人数の制限を行い、また接触を減らす内容に変更して実施した。

### 3 事業遂行上講じた取組

#### (1) 取組内容

#### ア 3密を避ける措置と取組（図 1）

(ア) 措置 入場制限 入場整理券の配布 10 組限定で完全入替え制（25 分ごと）

ブースの仕切り 机上のパーティション 椅子は間隔をとり配置

(イ) 取組 「工作コーナー」、「缶バッジ作成コーナー」、「木工クラフトコーナー」

#### イ 非接触に配慮しての新たな取組

#### (ア) 入場整理券配布のセルフサービス化

入場整理券は手渡しせず、ブラックボードに整理券の入ったプラスチック容器を磁石で設置（消毒の為）し、参加者が自分で取れるようにした。

#### (イ) 来場者アンケートのペーパーレス化

アンケート用紙の配布、回収をやめ、Google Workspace for Education の「Forms」でアンケートを作成し、入場整理券に記載した QR コードよりスマホで入力するようにした。

#### (ウ) スマホ de 親子クイズラリーのペーパーレス化

イオンモール内を「早寝早起き朝ごはん運動」のマスコットキャラクターを探しながら歩き、食育に関するクイズに答えるクイズラリーにおいて、解答用紙を廃止し、Web 入力で解答するようにした（図 2）。

#### ウ 例年通りの形式で実施した取組

パネル展示「早寝早起き朝ごはん運動」「元気なならっ子約束運動」



図 1 3密を避ける措置



図 2 スマホ de 親子クイズラリー

## (2) 成果

人数や内容を変更しての実施であったが、来場者アンケートの結果を令和元年度と比較すると、例年と遜色ない回答を得ることができた（図3）。フォーラム全体に対しては「とても楽しかった」「楽しかった」という肯定的評価が98.6%であり、おおむね成功であったと言える。早寝早起き朝ごはんについては87.6%、朝ごはんについては90.4%が、理解が深まったと回答した。さらに、家庭での習慣付けへの意識の高揚については、95%以上の高評価を得ることができた。感染拡大対策を講じながらも、おおむね効果的な啓発活動を行うことができたと考える。

「スマホ de 親子クイズラリー」では、全問入力後に合言葉が表示されるように設定し、参加した子どもに答えてもらった。参加賞として、当所作成の「啓発クリアファイル」と早寝早起き朝ごはん全国協議会作成の「啓発絵本」を進呈した。子どもが“早寝早起き朝ごはん”という合言葉を覚えることで、意識の変容を図り、保護者においては、食育の説明文を読み、子どもに説明しながらクイズに答えることで、日頃、漠然と感じている早寝早起き朝ごはんの大切さについて科学的根拠をもって理解することの一助となるよう実施した。

## (3) 課題

工作や木工クラフトのブースは例年どおり実施したが、新型コロナウイルス感染症感染拡大防止対策として、極力接触を避けることや道具の消毒を最優先に、材料は半完成品を用意したので、親子が楽しみながら行うという目的は十分に達成できなかった。作り方をWebページに掲載するなど、家庭とイベントをつなぐ取組等を考える必要がある。

今回初めて非接触型交流イベントとして「スマホ de 親子クイズラリー」を行った。その結果、スマホの使用に関しては特に混乱していなかったが、よりラリーに参加しやすくするために、キャラクターを大きくしたり、設置場所を掲示したりするなどの更なる工夫が必要である。また、オンラインでの実施等も視野に入れ、クイズの内容の精査やコンテンツのデザインの工夫が課題として挙げられる。

## 4 令和3年度からの新たな取組

基本的な生活習慣の定着など家庭教育の重要性を十分に理解していない保護者に対し、Forms や文字媒体だけではなく、Adobe の Dimension や Spark などのアプリを使用したコンテンツ（図4）を用い、保護者の視覚、感性に届く啓発となるよう検討を行う。

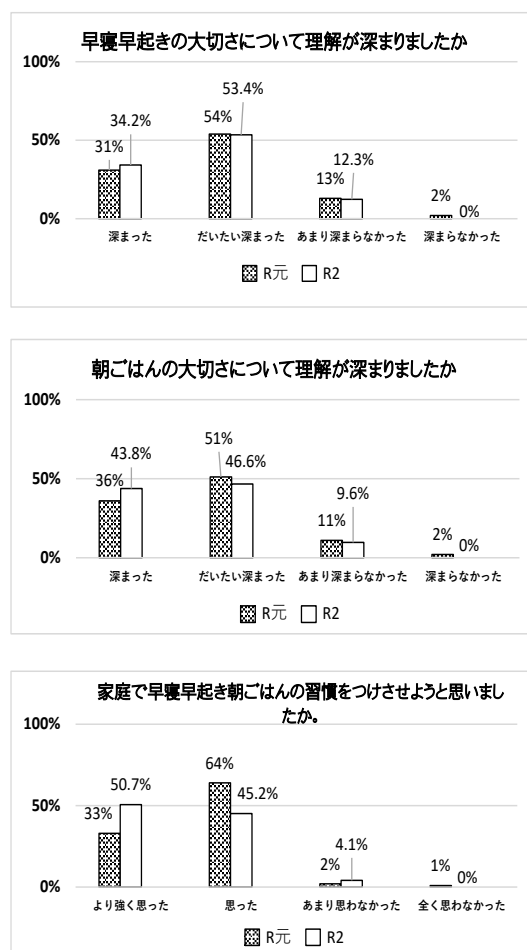


図3 当日参加者アンケート



図4 映像による啓発例 (Adobe Spark で作成)